

(日立造船株式会社取締役社長・京都市長共同記者会見資料)

平成23年8月19日
日立造船株式会社
京 都 市



産学公共同による「廃棄物からのバイオマスの回収と
エタノール変換技術の開発」事業の共同実施について
～「都市油田」発掘プロジェクト・生ごみと紙ごみからアルコール燃料！！～

京都市は、環境モデル都市として低炭素社会を目指し、これまでにバイオディーゼル燃料化事業やバイオガス化技術実証事業など、バイオマス利活用の促進に向けて先進的に取り組んできました。

このような中、全国初の取組となる、生ごみと紙ごみの混合物からエタノールに変換する「廃棄物からのバイオマスの回収とエタノール変換技術の開発」事業が環境省の平成23年度環境研究総合推進費補助金事業に採択されたことに伴い、平成23年度及び平成24年度の2箇年で、本事業を日立造船（株）及び熊本大学と共同実施します。

また、本日、事業を実施するに当たり、京都市と日立造船（株）は「技術開発事業共同実施協定書」の調印を行います。

記

1 事業の概要

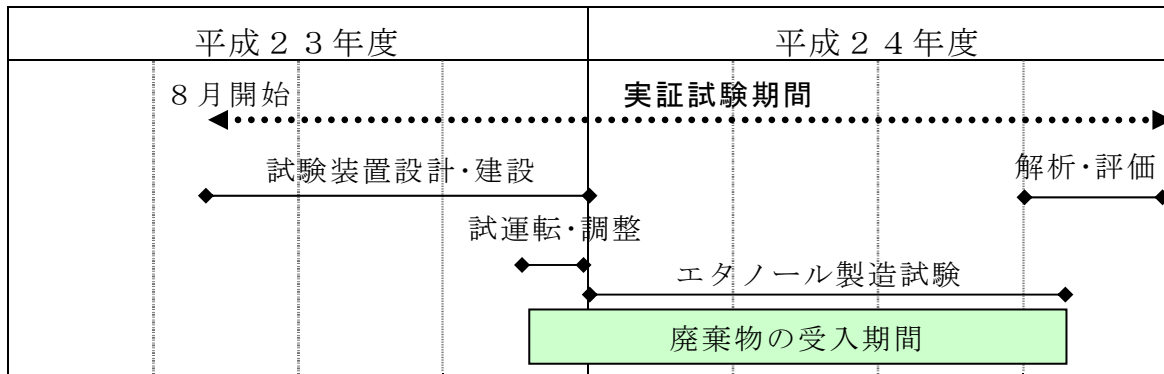
市内から排出される一般廃棄物（家庭系・事業系）の生ごみと紙ごみを機械選別し、酵素と酵母及び水を加えて槽へ投入し、同時に糖化・発酵させ、最終的に蒸留設備によりエタノール（濃度99.5%）を製造します。エタノールは、一般廃棄物1トンあたり約60リットルの製造が可能で、ガソリン代替や温室暖房用バーナー及び発電機等での実用化に向けた検討（解析・評価）を行います。

2 実施体制

- (1) 日立造船（株）は、京都市と協議のうえ効率的に機器・装置を設置し、実証試験の実施及び事業成果等の取りまとめを行います。
- (2) 熊本大学は、実証試験で使用する酵母の提供や実証試験への指導を行います。

(3) 京都市は、一般廃棄物及び実証装置の設置場所を提供するとともに、これまでに蓄積されたごみ組成調査データを基に、実証試験の内容についての助言を行い、試験結果の検証を共同で行います。

3 スケジュール



4 実施予定地（別図1）

京都市西部圧縮梱包施設（旧京都市西部クリーンセンター）敷地内

5 試験フロー（別図2）

【問い合わせ先】

京 都 市

環境政策局適正処理施設部施設管理課

TEL：075-212-9820

日立造船株式会社

総務・人事部 広報グループ

TEL：06-6569-0013

別図1 実証試験実施予定地（京都市大枝沓掛町26番地）

